

インフォメイトしょ

特集

呼吸器外科のご紹介

地域周産期母子医療センター

健康でいただくために

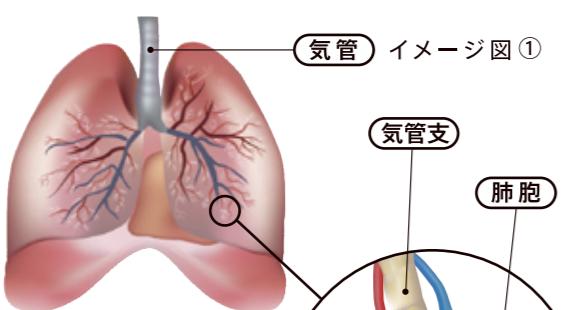
看護に関する入院患者満足度調査結果

第20回 市民公開講座

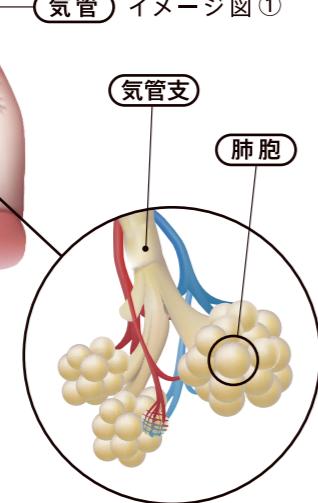
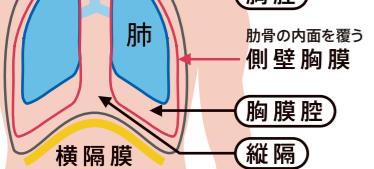
縦隔腫瘍
肺がん・自然気胸
縦隔腫瘍

呼吸器外科は、肺がんや気胸などの呼吸器疾患、縦隔腫瘍、膿胸など年間約130例の手術治療を順天堂大学呼吸器外科と連携して行っています。手術の基本は胸腔鏡補助下手術で、手術後の痛みが少なく早期退院が特徴です。

自然気胸は20～30歳代のやせ型の男性に多く、肺胞にできる風船のような膨らんだ組織の破裂が原因で肺が縮む病気です。この病気は60%程度の再発があり、外科的治療が必要になってきます。気胸に対する主な手術は、内視鏡で胸腔内を観察しながら切除する方法です。



イメージ図②



重症肺炎等で肺の中の炎症が外側に波及し、肺の外側に膿が溜まる状態です。初期の治療は、主に胸腔内にチューブ（胸腔ドレーン）を挿入し、胸腔に貯留した空気や液体を排出する（胸腔ドレナージ）と抗生物質の点滴で治療します。時間が経つと手術で膿を外に出し、縮まった肺を拡げなければなりません。

健康診断などで「肺に影がある」と言われた

かたなど、「かかりつけ医」とご相談のうえ呼

吸器外科を受診ください。

当院は、東京都多摩地域の小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、武蔵村山市および西東京市の8市で構成されている昭和病院企業団により運営されています。標榜診療科は全31科。休日・夜間救急医療をはじめ、高度・専門医療、予防医学的事業、地域医療センターとして高い機能を発揮して、地域の医療需要と信頼に応えています。

呼吸器外科医師 秦一倫

呼吸器外科のご紹介



当院は、地域医療の中核を担う地域医療支援病院として東京都から承認を受けています。地域医療支援病院は、集中治療室等を備えた24時間体制での救急医療の提供をはじめ、高度医療機器を用いた検査や医療が必要となつた紹介患者さんを受け入れ、治療によって回復期に入った患者さんを地域の医療機関に紹介（紹介）するなど、医療機能の役割分担による円滑な医療連携の充実が図られるよう、登録医制度を推進しています。当院においても「公立昭和病院地域医療連携登録医」315名の医師が登録されており、構成市をはじめ、それ以外の地域からも登録をいただいています。

当院と登録医の連携

当院では、登録医に情報誌「連携室からのお知らせ」を毎月発行し、診療体制や高度医療機器の導入など様々な情報を提供し、当院の状況を把握していただきながら緊密な医療連携を図っています。

また、登録医は必要に応じて、院内設備や開放病棟の利用、諸検査や手術の立ち会い、共同診療などを行い患者さんの状況把握に努めています。特に共同診療は、登録医と当院の担当医が、紹介患者さんの手術後の経過や退院の予定などを共同して診療にあたるため、患者さんが安心して切れ目のない医療を受けられ好評をいただいているます。

当院の正面出入口付近には、登録医（医療機関）を掲示しています。また、「かかりつけ医」を持たない患者さんや、新たに「かかりつけ医」を探す際の情報として、持ち帰ることのできる市別の一覧表を備えていますので、ぜひご利用ください。

※紹介患者さんが、当院の登録医からではない場合や、当院からの紹介先が登録医ではない場合、どちらも当院では登録医と変わりなく医療連携に努めていますので、ぜひとも利用ください。

ご存じですか？ 地域医療連携登録医



正面出入口付近に掲示する
登録医（医療機関）一覧

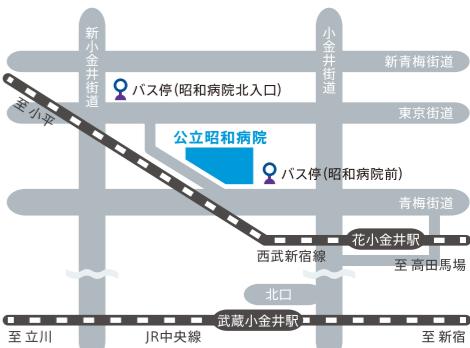
【方針】

- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます



公立昭和病院

〒187-8510
東京都小平市花小金井8-1-1
tel.042-461-0052
fax.042-464-7912
www.kouritu-showa.jp



当院のNICU/GCU

周産期母子医療センター～発足4年を経るにあたって～

副センター長 小鍛治 雅之

東京都の母子保健指標によれば、東京都全体の新生児の出生数は、年間11万人前後で推移しており、その内の1／3が多摩地域で出生しています。2500グラム未満で出生する低出生体重児は年々増加し、全出生数の10%を占め、多摩地域での出生数は約3000人に上ります。また、高年齢出産などのハイリスク妊娠も増加傾向にあります。その一方で、低出生体重児や病的新生児を収容する新生児集中治療室(NICU)病床数は、平成27年3月現在で東京都全体の315床のうち、多摩地域は約2%の69床と病床数が不足しているのが現状です。

このような状況の中で、これまでも当院は、急性期の病的新生児(28週以降1000グラム以上の低出生体重児を含む)の救命を24時間体制で行うNICU6床と、リスクが回避され安定してから退院までの治療を担う新生児治療回復室(GCU)9床で、地域の周産期医療(※)に貢献してきました。

その基盤の上に立って、高度な医療が必要となる母体搬送を受け入れる産婦人科と、NICUとGCUを擁する小児科とが協同し、ハイリスク妊娠・新生児・胎児の認定を平成25年4月に東京都から受けました。その結果、平成23年のNICU入院数209人から平成26年259人と飛躍的に増加するなど、引き続きNICUの必要性が高い状況に対し、多摩地域において大きな役割を担っています。



新生児集中治療室(NICU)

平成27年度 看護に関する入院患者満足度調査結果

看護の仕事

看護は、保健師助産師看護師法に則り、専門的知識や技術に基づいて、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通しその人们へおいて生を全うできるように援助することを目的としています。

看護師は、妊娠から分娩・新生児のケア、産後の生活支援など、いのちの誕生と女性の生涯に寄り添うケアを行っています。

看護師は、治療を受けながら生生活的患者さんを援助し、診療の補助を行います。患者さんと接する時間が一番多く、患者さんの痛みや苦しみに寄り添い励まし、身体と心の両面をサポートします。また、医療チームの一員として多職種と連携を図り、患者さんにとつてより良い療養環境が整えられるよう支援します。看護には形がありませんし、目に見えない点など、ご意見を伺う「看護に関する入院患者満足度調査」を平成26年度から実施しています。

看護に関する入院患者満足度調査

その目に見えない看護を患者さんやご家族のかたはどう感じているのか、良い点改善が必要な点などを、ご意見を伺う「看護に関する入院患者満足度調査」を平成26年度から実施しています。

期間:平成28年1月12日～2月10日 配布数:835枚 回収数:668枚 回収率:80%

質問項目	満足	やや満足	やや不満	不満
看護師はあなたの声に耳を傾けてくれましたか	86.0%	11.9%	1.8%	0.3%
看護師はあなたの身体の状態をよくわかつてくれましたか	80.6%	16.4%	2.6%	0.5%
わからないことは気がねなく、看護師に質問できましたか	82.9%	15.1%	1.8%	0.2%
看護師は質問や話をしたときに十分に答えてくれましたか	84.1%	13.4%	2.2%	0.3%
納得して治療・看護を受けられましたか	84.9%	12.9%	1.8%	0.3%
ご家族(大切な方)への看護師の対応は丁寧でしたか	85.9%	12.9%	0.8%	0.3%
面会に対する配慮は出来ていましたか	85.5%	12.5%	1.7%	0.3%
看護師はナースコールを押したらすぐに対応してくれましたか	82.3%	13.9%	3.6%	0.2%
看護師はプライバシーを十分に配慮できていましたか	85.9%	12.3%	1.8%	0.0%
痛みや苦痛時を訴えた時看護師の対応はいかがでしたか	83.7%	14.1%	2.1%	0.2%
排泄や体の清潔に関して自分でできない時の看護婦の対応はいかがでしたか	84.4%	13.2%	2.0%	0.4%
あなたが頼んだことに対し看護師は対応してくれましたか	85.2%	12.6%	2.0%	0.2%
患者さんやご家族の要望が医師に伝わっていましたか	83.5%	13.8%	2.2%	0.5%
看護師がいることで安心して検査や治療が受けられましたか	90.8%	8.6%	0.3%	0.3%
ナースコールは手の届くところに設置されていましたか	94.1%	5.0%	0.9%	0.0%
看護師の服装や髪型など清潔感がありましたか	90.7%	8.3%	1.1%	0.0%
看護師は私語や不用意な言動をつしんでいましたか	83.0%	13.7%	2.7%	0.6%
看護師の言葉づかいは丁寧でしたか	89.3%	9.2%	1.4%	0.2%

この度、平成27年度の調査結果を左表のとおり報告します。調査結果は、業務の改善等に反映させ、より良い看護へ発展できるよう努めます。なお、今年度も1月中旬より調査を行いますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

看護部長 小松 まり子

公立昭和病院
第20回 市民公開講座

日時 平成29年3月19日(日)
14:30～16:00

場所 清瀬けやきホール
(西武池袋線 清瀬駅北口徒歩4分)

第一部
いびきをかくひとは、病院を受診した方がいいって本当ですか?
国立病院機構東京病院 臨床研究部長 松井弘穂

第二部
あなたは癌検診を受けていますか?
公立昭和病院 院長 上西紀夫

お問い合わせ
公立昭和病院 医事課 医事管理係
042(461)0052代 内線 2171

■主催: 公立昭和病院 ■共催: 清瀬市医師会 ■後援: 清瀬市



健康診断で病気予防と早期発見・早期治療



予防健診センターロビー

健康でいたくために～健診へのお誘い～

予防健診科担当部長 石塚 裕昭

現在、日本は世界有数の高齢社会となり、医療費の増大が社会問題となっています。そのため、厚生労働省をはじめとする諸機関で、予防医学が脚光を浴びるようになりました。予防医学というのは、自覚症状が出る前の早い段階で病気を見つけること、もしくは病気になる前の段階で要因を指摘し、改善をお願いすることです。日本人の死因1位、2位の癌(がん)、心疾患は、実は生活習慣の改善で、ある程度予防できたり、早期発見が可能であったりします。

敵をもつと知つていただき、現在のご自分の状態では、どのような病気のリスクが高いかを認識いただければ、病気との戦いに勝てるのではないか。

当院の予防健診センターは、そのお手伝いをさせていただくところです。また、病気が見つかっても、例えば胃癌や大腸癌の早期であれば、内視鏡による治療ができる場合も増えています。何事も早期にあつたりします。

当院の予防健診センターは、そのお手伝いをさせていただくところです。また、病気が見つかっても、例えば胃癌や大腸癌の早期であれば、内視鏡による治療が可能ですし、乳房も乳房を残すことができる場合も増えていました。何事も早期に癌の早期であれば、内視鏡による治療が可能になります。

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事习惯が関係しているとされ、コレステロールやカロリーの増加は、死因第4位の脳血管障害との関連も指摘されています。

日本人はもともと農耕民族なので、動物性脂肪をとり過ぎないようにし、LDLコレステロールを下げるだけでも、心疾患や脳血管障害のリスクが大幅に減少するとされています。ただし、日本型の食事で塩分をとり過ぎると、血圧の上昇を招きますので注意が必要です。

生活習慣の改善

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事

日本人の癌といえば、数十年前は胃癌という時代がありました。しかし、胃バリウム検査や胃内視鏡検査の導入等の医学の進歩により、胃癌の死亡率は格段に減少しています。それに比べ、大腸癌や乳癌が増えてきました。これには欧米型の食事

健診による早期発見

有名な孫子の兵法に、「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」ということばがあるのをご存じでしょうか。病気という

敵をもつと知つていただき、現在のご自分の状態では、どのような病気のリスクが高いかを認識いただければ、病気との戦いに勝てるのではないか。

健診へのお誘い

当院の予防健診センターは、全国で350施設、都内では58施設しかない日本人間ドック学会であります。また、病院併設で

機能評価認定施設です。また、病院併設で

健診へのお誘い

機能評価認定施設です。また、病院併設で

機能評価認定施設です。また、病院併設で

